Osaka Medical and Pharmaceutical University Hospital News

大阪医科薬科大学病院ニュース

2024年10月

vol.77

発 行
大阪医科薬科大学病院

●病院理念●
社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します

ホームページ https://hospital.ompu.ac.jp/

病院ホームページ

アピアランスケア(外見ケア)相談会のご案内

「アピアランスケア」という言葉は、あまり聞き慣れないかもしれません。
がん治療は、脱毛や身体の一部の変化等、様々な外見の変化が起こることがあります。このような外見の変化による患者さんのストレスを軽減するためのケアを「アピアランスケア」といいます。
アピアランスケア相談会では、治療により外見が変わることで生じる悩みや苦痛を軽減し、その人らしく生活を送ることを目的に今年度は2回開催します。
第1回目は7月19日に開催し、11名の患者さん・ご家族が参加されました。がん治療中でもウィッグやメイクを利用しておしゃれが楽しめるように、また眉やまつげの脱毛、顔色、爪の変化に対する具体的なアドバイスが、メイクアドバイザーや毛髪技能士、看護師からありました。
参加された患者さんやご家族からは『とても参考になった』『心が軽くなった』『楽しかった』等、感想をいただきました。
次回は11月12日(火)に開催いたします。ぜひご参加ください。

「世界患者安全週間」医療安全研修会開催のご報告

World Patient Safety Day 17 September

9月17日はWHOが定める「世界患者安全の日」で、今年のテーマは、「Improving diagnosis for patient safety(患者安全のための診断改善)」です。
当院は9月16日-21日を「世界患者安全週間」とし、期間中、正面玄関等には「世界患者安全の日」のテーマカラーであるオレンジ色を基調とした花を設置し、9月17日は、全職員オレンジ色の医療用マスクを着用しました。また、診断の質向上を促すメッセージ入りのポケットティッシュを院内と近隣病院へ配布しました。
9月27日は、医療安全研修会を開催し、群星(むりぶし)沖縄臨床研修センター徳田安春先生を講師にお迎えし、『患者安全のための診断改善～正確な診断を追求し安全を確保しましょう～』をテーマにご講演いただき、近隣病院と共に学びを深めました。

協賛:㈱ウォルターズ・クルワー
※患者安全促進に向けた活動の一環として活用している臨床意思決定支援ツール「UpToDate®」の日本事務所

「第11回世界糖尿病デー in 大阪医科薬科大学」を開催します (2024年11月1日～30日 院内イベント11月14日)

11月14日は「世界糖尿病デー」です。
インスリンの発見者フレデリック・バンティングの誕生日に当たり、糖尿病の予防や治療継続の重要性について世界的に啓発活動を推進しています。
当院でも、毎年「世界糖尿病デーin大阪医薬大」として、医師、看護師等、多職種で構成された糖尿病ケアチームが中心となり、院内イベントを開催しています。
今年のテーマは【周りの人とできる糖尿病ケア】。
イベント当日は、7号館1階にイベントブースを設け、ポスターの展示、血糖測定体験や糖尿病に関する相談コーナーを設置します。
疑問や不安を少しでも解決できることを目標にしています。
皆さまお誘いあわせの上ご参加ください。
高槻市のマスコット「はにたん」も来場予定です。

糖尿病ケアチームとは？

糖尿病治療では、食事・運動をはじめ、薬の管理など、気をつけなければならないことがたくさんあります。当院の「糖尿病ケアチーム」は、8つの職種が協力して関わることで、より良い糖尿病との付き合い方、また、合併症の予防につながるようサポートしていくことを目標としています。

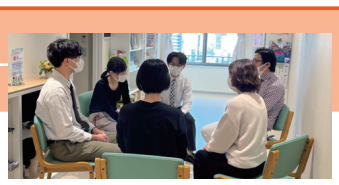
公開市民セミナー「毎日できる！ 肝臓をまもる3つのヒント」

医師 西川 知宏

「あなたの肝臓、知らないうちに悲鳴をあげていませんか」をテーマに公開市民セミナーを開催いたします。
一健康診断で肝機の数値を指摘されたことはありませんか
一要検査のまま放置していませんか
一肝臓についてもっと知りたいと思っていませんか
当院の医師がわかりやすく解説し、皆さまの疑問にお答えします。

■日程：10月19日(土)14時～
■場所：大阪医科薬科大学 新講義実習棟1階
■申込方法：事前申込制(定員150名)
直接窓口(広域医療連携センター 患者総合相談室)または電話
※当日参加された方に、キューピー人形(限定品)を配布予定

がん患者サロン「ひだまり」ミニ講座のご案内



本院では2012年からがん患者さん・ご家族を支援する活動のひとつとして、がん患者サロン「ひだまり」を開催しています。
がん患者サロン「ひだまり」は、前半は医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、公認心理師、管理栄養士、理学療法士など様々な職種が講師となり、治療や食事、日常生活、心のケアなどがんに関するいろいろなテーマについてのミニ講座を行っています。
後半は参加された患者さん・ご家族同士で自由におしゃべりして支え合える場として交流会を行っています。参加者からは「家族や友人には言えないがん特有の悩みや不安なども、同じ病気の方となら本音で話せる」「仲間ができて嬉しい」というご意見をいただいています。
初めて参加される方にとっては、不安があるかもしれませんが、スタッフがサポートさせていただきますので、安心してご参加ください。

ミニ講座予定
●10月19日(土) がん治療中のお金と仕事
～知っておきたい制度～
伊藤貴志社会保険労務士事務所 伊藤 貴志 先生
●12月21日(土) 大腸がんについて(仮)
一般・消化器・小児外科 医師 濱元 宏喜
●3月15日(土) 婦人科がんについて(仮)
婦人科・腫瘍科 医師 藤原 聡枝

お申し込みは、病院HPまたはがん相談支援センター窓口で承っています。詳細は院内掲示のポスターをご覧ください。ぜひ気軽にご参加ください。

一部診療科のWebでの再診予約変更の受付開始

これまで電話が繋がりにくくご不便をおかけしていました再診の予約変更ですが、2024年6月から、Webで変更の申込みができるようになりました（一部診療科除く）。これにより24時間いつでもご都合の良い時に再診予約の変更の申込みが可能となります。

※申込み日から3診療日以降の外来診療予約の変更のみお申込みいただけます。
※診療予約のキャンセル、時間のみの変更、検査予約の変更についてはご利用いただけません。

対象診療科
内科、一般・消化器・小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科・脳血管内治療科、小児科、婦人科・腫瘍科、眼科、皮膚科、腎泌尿器外科、麻酔科・ペインクリニック、形成外科、歯科口腔外科

看護スペシャリスト vol.27

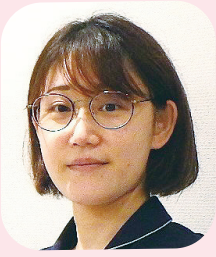
認定看護師の活動

最善の方法を考え、努力をしています

手術看護認定看護師
中村 尚美

手術看護認定看護師の役割は、患者さんに安心して手術を受けてもらえるよう、安全な看護を提供することです。

手術は患者さんの人生にとって重要な出来事です。不安を抱えている方、慢性の病気を持っている方、小さな赤ちゃんや、ご高齢の方など背景も年齢も様々な方が手術を受けられます。手術が始まるまでの患者さんとの短い時間での関わりから、麻酔で眠っている間も、「この方はどうして欲しいだろうか？」「この体位はしんどくないだろうか？」など患者さんの身になって最善の方法を考え、無事に手術が乗り越えられるよう努力をしています。すべての患者さんが安心して手術を受けられるよう、今後も看護を実践していきます。



来院時から退院後まで看護を提供する

クリティカルケア
認定看護師
大塚 まり恵

クリティカルケア認定看護師の役割は、来院時から退院後までのあらゆる場で重症な患者さんに対して早期回復に向けた看護を提供することです。

現在、救命救急ICU（EICU）に勤務し、入院されている患者さんに最善の医療を提供できるよう、多職種と連携しケアを行っています。集中治療室を退院された患者さんの中には、病気が回復した後も筋力低下や慢性的な痛み、不眠、うつといった症状のために日常生活に支障をきたすことがあり、そのような症状を集中治療後症候群（PICS）と呼んでいます。ご家族もうつやパニック症状に悩むことがあると言われており、昨年度からEICUを退院された患者さんやそのご家族を対象にPICS外来を開設し、医師と共にフォローアップを行っています。ケアを必要とされている患者さんがいらっしゃいましたら、いつでもご相談ください。

「大学病院新本館」建築ニュース

2023年９月に着工した病院新本館B棟の建築工事は、「Super Smart Hospital」をコンセプトに、「超スマート医療」を実践し、高度な医療を提供しながら、患者さんに寄り添う「温かい病院」を目指して順調に進んでいます。

病院新本館B棟は2025年７月の開院予定ですが、関連施設の工事は2028年まで続く予定です。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「医師の働き方改革」当院の取り組みとご協力のお願い

【参考】厚生労働省　上手な医療のかかり方
https://kakarikata.mhlw.go.jp/kakaritsuke/change.html

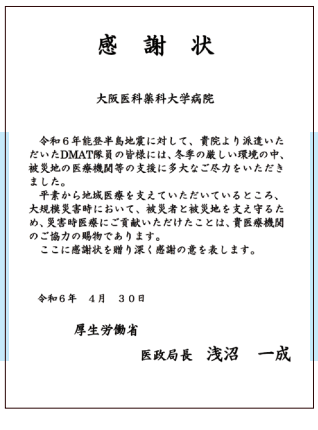
医師の働き方改革施行に伴い2024年4月から医師の時間外労働の上限規制がスタートしました。
当院では2023年10月に大阪府内で最も早く水準指定を受ける等、働き方改革に積極的に取り組んでいます。

医師の健康を確保し安全で質の高い医療を提供するには、以下の取り組みについて患者さんやご家族の皆様のご協力が必要となります。医師の長時間労働改善に向けた取り組みにご協力をお願いします。

○受診や病状説明は診療時間内にお願いします（緊急時除く）
○状況により主治医でない医師が対応することがあります
○医師以外のスタッフが対応することがあります（タスクシフト/シェアの実施）

なお、医師の働き方改革に関しての詳細は、１階外来待合室のデジタルサイネージでお知らせしています。

感謝状を拝受しました



感　謝　状

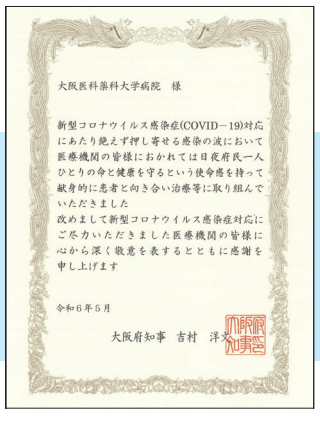
大阪医科薬科大学病院

令和６年能登半島地震に対して、貴院より派遣いただいたDMAT隊員の皆様には、冬季の厳しい環境の中、被災地の医療機関等の支援に多大なご尽力をいただきました。
平素から地域医療を支えていただいているところ、大規模災害時において、被災者と被災地を支え守るため、災害時医療にご貢献いただけたことは、貴医療機関のご協力の賜物であります。
ここに感謝状を贈り深く感謝の意を表します。

令和6年　4月　30日

厚生労働省
医政局長　浅沼　一成

［DMAT］
令和６年１月１日に能登半島を震源に発生した地震に対して、当院は厚生労働省DMAT事務局ほか、各関係団体からの要請に基づき、DMAT（災害派遣医療チーム）を被災地へ派遣し必要な医療支援を行ってまいりました。
このたび、被災地での活動に対し、厚生労働省から感謝状を拝受しました。
被災地の一日も早い復旧・復興を願い、引き続き医療体制の充実と発展に努めてまいります。



感　謝　状

大阪医科薬科大学病院　様

新型コロナウイルス感染症(COVID－19)対応にあたり絶えず押し寄せる感染の波において医療機関の皆様におかれては日夜府民一人ひとりの命と健康を守るという使命感を持って献身的に患者と向き合い治療等に取り組んでいただきました
改めまして新型コロナウイルス感染症対応にご尽力いただきました医療機関の皆様に心から深く敬意を表するとともに感謝を申し上げます

令和６年５月

大阪府知事　吉村　洋文

［コロナ］
大阪府の新型コロナウイルス感染症対応において、大阪府知事から感謝状を拝受しました。
昨年、新型コロナウイルス感染症は５類感染症へ移行しましたが、今後も社会の医療ニーズに応え進歩・発展する病院をめざします。